

# 鎌田四丁目・大蔵六丁目 水害時避難行動マップ (野川・仙川版)

平成31年3月版 発行：世田谷区砧総合支所 地域振興課  
TEL：03(3482)2169 FAX：03(3482)1655



0m 50m 100m 150m 200m 300m 400m

縮尺＝1：2,500 地図上の1cmは、実際の25mです。

## 避難所一覧

▲ 避難所の出入口を示します。

A 氷川神社	B 砧南中学校	C 鎌田区民センター
大蔵六丁目6-7 社務所 67人収容	鎌田三丁目13-20 体育館 1827人収容	鎌田区民センターは、令和3年4月から改修工事を行うため、当面の間、避難所として開設いたしません。
社務所までは、スロープ(急坂)急階段があります。	03-3417-6791(代表)	
仙川が氾濫せずに、鎌田橋、田中之森橋、鳥居田橋が渡れる場合に避難が可能です。		

この地図は、世田谷区及び国際航業(株)が作成した世田谷区白地図データベースを使用して作成しました。

避難にあたっては、最新の気象情報等をご確認ください。  
また、避難するにあたり、  
・危険を伴い、移動できる避難所がない場合  
・避難所まで向かう猶予がない場合  
**建物の上層階(可能であれば3階以上)に避難してください。**



### 凡例

避難所	黄色い四角	車いす通行不可	斜線
避難経路	緑い矢印	坂 車いす自走困難	斜線
鎌田橋・田中之森橋・鳥居田橋が渡れる場合の避難経路	赤い矢印	防災無線塔<スピーカー>	Tマーク
水路あり注意	黄色い線	バス停留所	バスマーク
マンホール	赤い点	公衆電話(屋外終日使用可)<硬貨・テレホンカード>	電話マーク
河川水位確認カメラ	カメラマーク	町界	破線
排水ポンプ施設	黒い四角	公園・緑地	緑色
信号機	信号機マーク	標高	数字

注) マンホール：マンホールの位置は現地と整合しないことがあります。必ず現地の確認をお願いします。(出典：東京都下水道台帳)  
標高：標高は、東京湾平均海面(T.P.)からの高さ(出典：世田谷区データベース、東京都下水道台帳)

**本マップに掲載の情報は、野川・仙川のはん濫時の避難情報です。**  
多摩川のはん濫時の情報は、世田谷区危機管理部災害対策課より発行している「世田谷区洪水ハザードマップ」の多摩川版を参照して下さい。  
多摩川版は、国土交通省京浜河川事務所が平成28年に公表した「多摩川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」(想定雨量：多摩川流域の2日間総雨量588mm)をもとに、大雨時に多摩川上流の堤防が決壊し、洪水が発生した場合の浸水予想区域や浸水の程度、避難所等を示したものです。

- ＊いつも目にするところに置いておきましょう。
1. 自分の家を確認し印をつけます。
  2. 家の近くのみどり色の矢印 → をたどり、避難所と避難経路を確認します。
  3. マンホールなど、避難経路上にある危険物を確認し、地図に記入します。
  4. 実際に歩いてみて、かかった時間やルートを図に記録します。
  5. 自分の家の独自の避難地図(マイマップ)を完成させ、避難時に備えます。

マップの使い方

・砧南中学校  
・鎌田区民センター への避難は、  
**仙川が氾濫せずに  
鎌田橋・田中之森橋・鳥居田橋  
が渡れる場合のみ可能です。**

# 避難情報の種類と内容

発表・発令主体	気象庁	東京都・気象庁
内容	大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報
河川状況	河川はん濫の危険性は現時点では低い。今後の避難情報に注意し、必要に応じて避難の準備を開始してください。	水位上昇、はん濫の危険性が高い。気象情報・周囲の状況を確認し、避難の準備を始めてください。
呼びかけ内容	特に、お年寄りや病氣の方などは早めの避難準備開始してください。	※野川・仙川はん濫予報河川の運用について 野川・仙川は、東京都水防計画で洪水予報河川に指定されています。洪水予報河川では、気象庁の1時間先までの雨量予測をもとに、東京都が水位の変動を予測し、河川が氾濫するおそれのあるときに、東京都と気象庁が共同で「氾濫危険情報」を発表します。
情報の収集先及び提供手段	①世田谷区雨量水位情報ホームページ / ②世田谷区災害情報テレホンサービス / ③東京アメッシュ(ホームページ) / ④メール配信サービス / ⑤防災マップアプリ / 町会へFAX	

発表・発令主体	世田谷区
内容	高齢者等避難
河川状況	はん濫の危険性が高まっている。気象情報・周囲の状況を確認し、避難の準備を始めてください。
呼びかけ内容	避難行動に時間のかかる方は、避難を開始してください。 (マンション住まいの人は3階以上に、戸建ての人は周囲の安全な場所もしくは区が開示した避難所に避難をしてください。)
情報の収集先及び提供手段	④メール配信サービス ⑥エフエム世田谷(ラジオ) ⑦ケーブルテレビ ⑧防災無線塔のスピーカー・広報車 ⑨防災無線電話応答サービス 町会へFAX

## 大雨・洪水警報、氾濫危険情報

が発表された際に、世田谷区から右記の情報が発令されることがあります。



## 情報の収集先及び提供手段

- ①世田谷区雨量・水位情報ホームページ  
野川・仙川などに水位計と水位確認カメラを設置しています。区内の中小河川の水位に関する情報をリアルタイムで提供しています。  
世田谷区ホームページ <http://www.city.setagaya.lg.jp/> (PCのみ)  
くらしのガイド → (緊急・防犯・防災) → (防災・災害対策) → (家庭の備え) → (災害時の情報収集方法) → 世田谷区雨量・水位情報ホームページ  
<http://micos-sb006.on.arena.ne.jp/setagaya/>
- 水位計・水位確認カメラの設置箇所(貼地域)  
仙川 稲高山橋(成城6丁目) 水位計  
川 清水橋 (大蔵5丁目) 水位計  
野川 鎌田橋 (鎌田3丁目) 水位計・カメラ  
野川 雁追橋 (豊多島7丁目) 水位計・カメラ  
野川 大正橋 (豊多島5丁目) 水位計・カメラ  
鎌田橋 (鎌田2丁目) 水位計  
水道橋 (鎌田1丁目) カメラ
- ※表中、「鎌田橋カメラ」の設置場所は表面のマップに表示してあります。  
※カメラの映像は10分ごと更新してあります。
- ②世田谷区災害情報テレホンサービス  
電話音声自動応答によって、気象警報や局地的な大雨等に関する注意情報などを提供します。  
専用電話番号 0180-99-3151 <http://tokyo-ame.jwa.or.jp/>
- ③東京アメッシュ(ホームページ) <http://tokyo-ame.jwa.or.jp/>
- ④メール配信サービス(災害・防犯情報メール配信サービス)  
携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、地震や気象警報、雨量、河川水位等の情報を提供しています。配信を希望する方は下記サイトより登録してお申し込みください。  
世田谷区ホームページ <http://www.city.setagaya.lg.jp/> (PC・携帯電話共通)  
くらしのガイド → (緊急・防犯・防災) → (防災・災害対策) → (家庭の備え) → (災害時の情報収集方法) → 災害・防犯情報メール配信サービス
- ⑤防災マップアプリ  
あらかじめスマートフォン・タブレットに地図をダウンロードすれば、インターネットに接続できない状況(オフライン)でも区内の避難所の位置が確認できます。GPS機能がある端末では最寄の避難所や広域避難場所を検索することができます。  
Android:2以上 iOS4.3以上
- ⑥ラジオ エフエム世田谷 周波数FM 83.4MHz (メガヘルツ)
- ⑦ケーブルテレビ イッツ・コミュニケーションズ株式会社
- ⑧防災無線塔のスピーカー・広報車  
防災無線や広報車のスピーカーから、防災情報を放送します。  
一放送例「こちらは世田谷区役所です。〇〇川の水位が上昇しています。〇〇へ避難して下さい。」
- ⑨防災無線電話応答サービス  
防災無線の放送内容が聞き取れなかった時に自動録音された放送内容(24時間以内)に放送された内容のみを聞くことができます。  
専用電話番号 050-5536-6957

## 大雨に備えて、早めに土のうを用意しましょう

- 〇土のうステーションについて(土のうがなくなった場合など)  
TEL 03-6432-7954  
FAX 03-6432-7993  
土木計画調整課
- 〇土のうステーション以外の、土のうに関するご相談  
TEL 03-3417-9571  
FAX 03-3417-9573  
粘土管理事務所

# 水害時の避難の心得

### 自宅滞在の心得

- 避難情報に注意を**  
大雨の時は、スピーカーの放送が聞きとりにくくなるので、避難情報などに注意を払いましょう
- 排水はなるべく避けましょう**  
一度に多くの水を流すと河川の増水につながります
- 被害を最小限にするために**  
外からの浸水にそなえ、土のうやタオルなどで扉の下などの隙間をふさぎましょう
- 家を出る前に**  
電気のブレーカーを落とす、ガスの元栓を閉め、床下通気口などをふさぎ、戸締まりを確認しましょう
- 地下室での滞在は危険**  
水圧でドアが開かなくなり閉じ込められることがあるので、地下室での滞在は避けましょう

### 自宅外避難の心得

- 動きやすい服装で**  
長靴や傘は危険です。ヘルメットやひもでもしめられる運動靴をばいいて避難しましょう
- 歩ける水の深さは、ひざぐらいいまです**  
それ以上の場合は高所で救助を待ちましょう
- お年寄りや身体の不自由な人の避難に協力を**

### 緊急時の連絡先

日頃から家族で情報を共有しておきましょう。

家族の連絡先	お名前	電話番号	勤め先/学校
お名前			

### 車での避難はひかえて

他の避難者や緊急車両の妨げになったり、閉じ込められる可能性があるののでやめましょう

### 足元に注意を

マンホールはふたがはずれることがあるので、近寄らないようにしましょう

\*表面のマップにマンホールの印があります。

### 切れた電線には近寄らない

### 非常時の持ち出し品

チェックリスト

- 飲料水
- 食料品
- 常備薬
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 予備の乾電池
- ライター
- ローソク
- 現金(小銭も用意)
- 免許証、健康保険証、預貯金通帳
- はんこ
- 権利証書

### 被災後の安全点検

台風や豪雨が去った後は危険がひそんでいることが多いので地域で協力しあいながら安全に復旧活動しましょう。

チェックリスト

- 家の中ではできるだけ風通しをよくして十分乾燥させる。
- 浸水の被害があったら消毒を念入りに行う。
- 落下物や倒壊の危険はないか。あればただちに補強や除去を行う。
- 断線した電線が家屋などに触れていないか。(棒などで安全な場所に移す)
- 水害を空けたら衛生管理に注意。
- 水道水は煮沸し、手の消毒を忘れないように。
- 活動時にはケガをしないよう肌を露出しない服装で。

！ **水害に適切する保険なども調べておきましょう**  
水害は一般的な火災保険・家財補償などでは対応していません。最近は、風水害に対応する保険などがでてきました。車の保険においても、風水害を含む保険もあるようです。補償条件も確認しておきましょう。

### 緊急時の連絡先

日頃から家族で情報を共有しておきましょう。

家族の連絡先	お名前	電話番号	勤め先/学校
お名前			

### 町会連絡網

町会と連携して、声かけや避難にご協力ください。

町会連絡網

どなたかから

どなたへ

お名前から

お住所

どなたへ

\*町会では組織図を作成してあります。

ひとりぐらしの高齢者などに  
ご近所のひとりぐらしの高齢者や障書のある方にお声掛けをするなど、日頃から気を配りましょう。